

公式記録に関して

1. 心構え

公式記録は、その試合の記録の原本となり、その試合に関する記録は全てこの公式記録が参照されます。従って、公式記録をつけるにあたっては、絶対に間違いは許されないという意識で臨んでください。また、あいまいな表記はありえません。不明点は必ず確認をお願いします。(単なるスコアシート記入員ではないということをお覚してください)

2. 業務内容

①スコアシートの作成

極力個人差がでないように、表記法、記号を統一してください。
また集計の手順を統一して、ミスを防ぎましょう。

②記録判定 (ヒット、エラー、FC等)

ヒット、エラーの判定は非常に重要です。安易な思い込みで判断せず、慎重かつ客観的に私情をはさまず判定してください。ヒット後のエラー進塁、送球間進塁などもよく見極めてください。

③勝利投手、敗戦投手の判断

これも公式記録員の仕事です。複数の投手が登板した場合、記録員からみた印象で判断、決定されることもあります。

③記録関係の数値集計 (打数、安打、打点、投球数、三振、自責点等々)

記録関係の数値については、専門的なルールの知識が要求されます。少しでもルールに精通するようお願いいたします。特に自責点、打点に関してのルールは複雑ですので注意してください。

3. スコア記入上のよくある不具合や注意点

(1) 集計ミス

打数、安打、盗塁、四死球等の合計数の不一致。
イニングごとの安打数、四死球、三振数の総数と全体の合計数が一致していない。

(2) 記入漏れ

盗塁、盗塁死、併殺、暴投、捕逸をした選手名の記入欄の未記入。
守備記録欄の未記入。
守備交代のイニングの未記入。

(3) スコア表記に関して

- ①三振、四球の最後の投球を記入欄に記入しない → 記入する
- ②盗塁刺の表記 STO → (2-6)'
- ③犠牲バントの表記 ◇5-3 → 5-3
- ④四球の記号 H → B

(4) 記録に関して

- ①失点、自責点の判定
- ②打点のつく場合とつかない場合
- ③併殺打のつかない併殺、併殺が成立しなくても併殺打になる場合。
- ④失策について
野手が打球に触れたかどうかは、失策の判断基準ではない。
ファール飛球でも失策をつける場合がある。

スコア記入要領

1. 試合開始前の準備

(1) 各試合の担当者の決定

1 試合の担当は2名でもよい。

先攻チーム担当と後攻チーム担当を決める

(2) 試合開始前に記入する事項

先攻チーム用紙

試合日、大会名、試合、球場名、対戦チーム、審判名、公式記録員名

状態、先攻チーム名、チームコード、先発オーダー（選手コードも記入）

先発投手（投手記録欄）

後攻チーム用紙

対戦チーム名及びチームコード（イニングスコア欄）、後攻チーム名、

チームコード、先発オーダー（選手コードも記入）、先発投手（投手記録欄）

2. 選手（交代等）の記入方法

(1) 先発

位置の記入（指名打者はD）

（回）は、無記入

背番号の記入

選手コードの記入

選手名の記入（同じ姓が複数いるチームのみ、名前を記入する。）

打ち方（R, L, S）

(2) 交代

・代打 H 代走 R

・代打、代走から守備に入った場合、選手番号（用紙には打順）の欄の段を変えない。

例 H 6 R 7

・守備位置変更の場合、守備記録の段を変えるが、打撃記録の段は変えない。

例 7 高田

9

・指名打者に代打で投手が打席に入る場合、投手の守備記録記入欄は変えない。

打撃記録は、入った打順の欄に記入

・指名打者に、代打、代走がでたら、直ぐにDをつける。

例 D D

HD RD

・一つの打順で5人以上交代した場合は、下のあいている四角に該当する選手番号を記入し、その段を利用する。

3. スコアの記入

別紙参照

4. 記録の集計

(1) 打撃記録

*一つの四角には、原則、5個（正）まで記入、5以上の数は、欄外等に誤りのないようチェックし、最後に数字で記入する。

出席 最後に数字で記入（途中で交代した時）

出数 都度記入

得点 都度記入

安打 都度記入（二塁打、三塁打、本塁打は内数）

長打を打った時は、下に氏名を記入

二塁打、三塁打は、打者名のみ

本塁打は、打者名、通算数（大会）、打点、相手投手名

例 クロマチー5号③ 榎原

塁打 最後に数字で記入（又は、途中で交代した時）

打点 都度記入

盗塁 都度記入

盗塁をした場合、下に氏名を記入

盗塁刺 都度記入

盗塁を刺された場合、下に氏名と刺した捕手名を記入

例 高橋（野村）

盗塁刺者（相手捕手名）

犠打 都度記入

犠飛 都度記入

四球 都度記入（故意四球は内数）

死球 都度記入

三振 都度記入

併殺打 都度記入

併殺打を記録した打者名を下に記入する。

* 併殺打の付かない併殺がある。

三振、盗塁刺の併殺

飛球、ライナーによる走者の飛び出し死

* 併殺が成立しなかった場合でも併殺打を記録することがある。

公式記録員が判断する。

妨害出塁 都度記入

妨害出塁を記録した打者名を下に記入する。

守備妨害 都度記入

守備出塁を記録した打者名を下に記入する。

「打席」→
「打数」
の誤記と
思われる

神奈川県野球協会では選手コードは
省略することが多い

↑「守備妨害」
の誤記と思われる

(2) 守備記録

補殺と刺殺の集計

できれば、その都度記入

複雑なプレーで混乱した場合は、一旦そのイニングの集計を止め、そのイニング終了後、投手の投球数を数えた後に集計し直す。

各イニングごとに補殺数と刺殺数を正確に記入し、チェックする。

失策があった場合、その前の守備者に補殺を記録することがある。

刺殺数=アウト数

刺殺・補殺の定義は、ルールブック参照

併殺参加

その都度記入

併殺に参加した野手名を真ん中下の「併殺(*は三重殺)」の欄に記入

例 5回に4-6-3の併殺があった場合

4に補殺、6に刺殺と補殺、3に刺殺、そして463に併殺参加を一つずつ記録する。

5 土井-黒江-王

*三重殺参加

その都度記入

まれに起こった時は、左側の欄外に記入する

三重殺に参加した野手名を真ん中下の「併殺(*は三重殺)」の欄に記入

例 8回に5-4-3の三重殺があった場合

5に刺殺、4に刺殺と補殺、3に刺殺、そして543に三重殺参加を一つずつ記録する。

8 *松永-小久保-藤本

許盗塁

その都度記入

攻撃側チームに盗塁を許した場合、捕手に許盗塁をひとつ記録する。

重盗塁、三重盗塁の場合も許盗塁は、ひとつ記録する。

失策

その都度記入

打撃妨害

捕手が打撃妨害を犯した時、その捕手に失策を記録し、下の打撃妨害の欄に捕手名を記入する。

守備妨害

野手が走塁妨害を犯した時、その野手に失策を記録し、下の守備妨害の欄に野手名を記入する。

捕逸

捕逸を記録された捕手名を下の捕逸の欄に記入する。

神奈川県野球協会では、
補殺・刺殺を集計しないことも多い

(3) 投手記録

勝投手、負投手の決定

試合終了後、公式記録員から発表される。

勝投手に○を記入、負投手に△を記入

完投 完投した投手に Y を記入する

当初 先発投手に O を記入する

完了 試合終了時まで投げた投手に記入する

補回 延長回になって登板した者

一試合に、一個記録させる。

投球回数 その回無死で交代した場合は、0/3を記入する。

打者数 終了時・交代時に記入する。

打数 "

被安打数 "

被本塁打数 "

被犠打 "

被犠飛 "

与四球数 " (与故意四球は内数)

与死球 "

暴投 その都度記入、上の暴投欄にその投手名を記入

ボーク その都度記入、上のボーク欄にその投手名を記入

失点 その都度記入

自責点 その都度記入

(4) 特記事項

完全試合、無安打無得点、完封、無四球試合、無失策試合

その他、この試合で達成された記録及び情報(大会記録担当者から連絡)

例 サイクル安打、1試合4安打、5安打他

4. 試合終了後

(1) 投手、打撃、守備記録の集計作業

相手チームの対峙する数字を合わせる

投手成績 - 相手チームの打撃

打撃成績 - 相手チームの投手

(2) 公式記録員と数字を合わせる

(3) 公式記録のコピーをもらって、記録入力室へ渡す。

(4) 終了

1. ポジションの番号

1	投手	4	二塁手	7	左翼手	D	指名打者
2	捕手	5	三塁手	8	中堅手		
3	一塁手	6	遊撃手	9	右翼手		

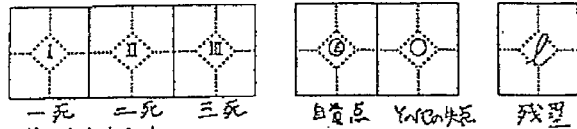
2. 数字の記入

守備者-数字 (ポジション番号)
 打者-漢数字 (打順・Oで囲む)
 アウトカウント-ローマ数字 (I、II、III)

3. コマの区分



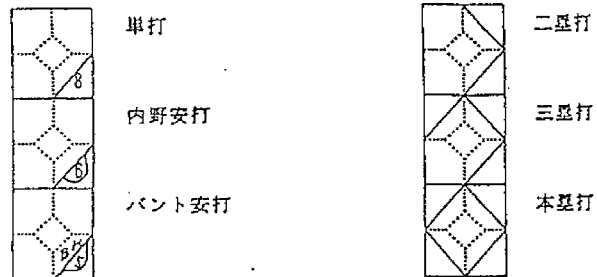
4. アウトカウント、得点、残塁



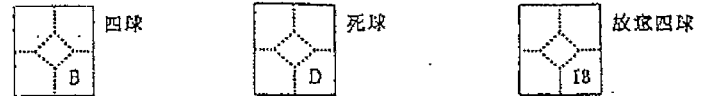
5. ボールカウント

● ボール
 × 見送り
 × 空振り
 △ ファウル
 × パント
 △ パント
 ● ストライク
 × ストライク
 △ 空振り
 × 空振り
 △ パント
 △ パント

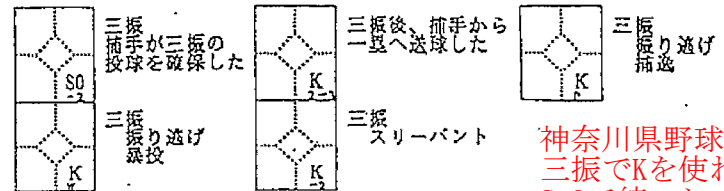
6. 安打



7. 四死球

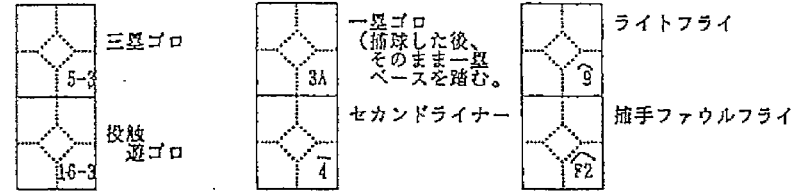


8. 三振



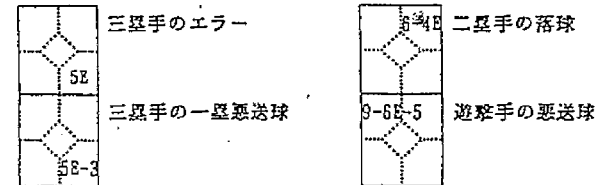
神奈川県野球協会では三振でKを使わずS.Oで統一している。

9. ゴロ、飛球等

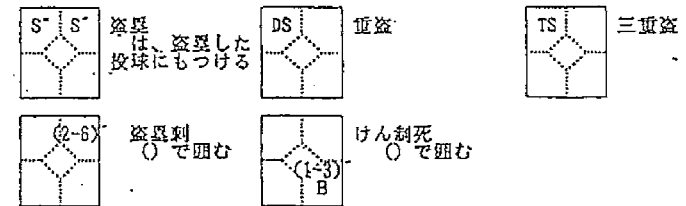


*一塁ベースはA、二塁ベースはB、三塁ベースはC、本塁ベースはDで記し、捕球後、そのままベースを踏んだ時等を使う。

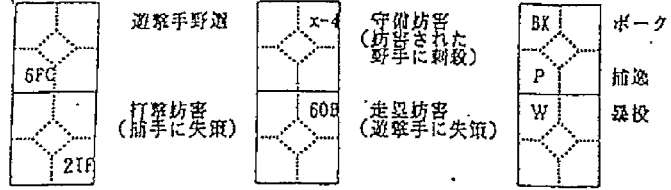
10. 失策



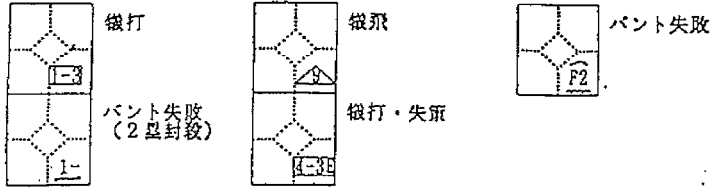
11. 盗塁、盗塁刺、けん制死



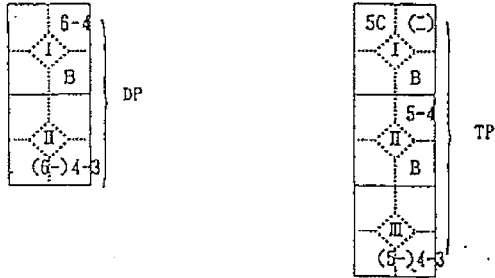
12. 野選、妨害、バッテリーミス



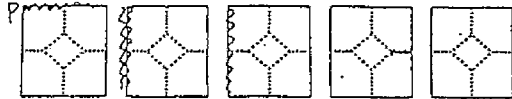
13. 犠打、犠飛等



14. 併殺、三重殺



15. 選手交代



P —— 投手交代
 } 選手交代 (守備から交代)
 } 選手交代 (代打・代走)

16. その他の記号

O 打点
 () 打点にならない得点
 H 代打
 R 代走

補殺、刺殺、併殺、許盗塁、失策をその都度記入。三重殺のあったときは左欄外に記入。
 ※補殺、刺殺は神奈川では記入しない場合あり。
 三振ゲッツー、飛球での走者のとび出しは併殺打はつかない。逆に併殺が成立しなくても併殺打をつけることもある(転送球時にミスがあった時)

投手成績の集計欄。交代、終了時に記入する。勝投手はW, 負投手はL、完投はY。当初は先発投手、完了は試合終了時の投手、補回は延長で登板した投手に○をつける。
 ※暴投、ボーク、失点、自責点はその都度記入(チェック)しておく

守備位置、代打、代走を記入。交代時はそのイニングを()で記入

選手名と背番号を記入。打ち方はR,L,Sで記入

イニングごとに集計し、累計も記入

各項目を記入する

各項目をその都度記入する
 ※打席数と塁打は最後に数字で記入
 ※正の字は原則5個までで使用。6以上になったら欄外にチェックして最後に数字で記入する
 ※安打数には長打も含める

↑ももとの意味はこの通りだが、安打欄に単打の本数だけを記録するケースも見られる。

盗塁、盗塁死、併殺打、妨害出塁、守備妨害をそれぞれ行なった選手名を記入(攻撃側)

暴投、ボークをした投手名を記入
 補逸した捕手名を記入

打撃妨害した捕手名、走塁妨害した野手名を記入(打撃妨害、走塁妨害は失策をつける)

併殺に参加した野手名をその都度記入する。例) 5回に5-4-3の併殺の場合「5 田辺-芦裕-菅」

三重殺の時は、*をつける「5 *田辺-芦裕-菅」

※併殺打と併殺は必ずしも一致しない(併殺打にならない併殺もある)

長打を打った選手名を記入。本塁打は選手名-大会通算数-打点-投手名を記入。

902-7

チーム名	チームコード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計
フェニックス		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0						2
伏木海陸運送		1	0	0	0	0	0	0	0	1	1x						3

特記事項
大会規定より延長10回は、917レ-7。
※特記事項は完全試合、無安打無得点、完封、無四球試合、無失策試合、その他の達成された記録（サイクル安打など）

守備記録												打撃記録											
局数	時間	投手	打者	投手コード	選手名	打方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計	
F	-	14	6	岩原	R		I															4F	
	-	8	9	河村	L																	4F	-T-5-
	-	6	8	寛幸	L																	4T	-T
FEF	-	2	2	坂林	R																	4F	---
		5	24	野村	R																	2T	
		15	24	野村	R																	7-	
		16	10	村本	R																	9F	T 2 -T
F	F	7	5	田辺	R																	4F	- 1 -
FEF	-	3	4	折橋	R																	4F	T 2 -
	-	7	5	中島	R																	3-	
F		10	1	安橋	L																		
		11	1	橋本	L																		

投手記録	投手コード	選手名	局数	打数	被安打	被本塁打	与四球	与死球	与三振	与盗塁	与失策	与自点	与自点率
投手	折橋		28	134	29	4	11	1	10	12	14	18	4
捕手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
一塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
二塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
三塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
遊撃手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
内野手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
外野手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
投手			28	134	29	4	11	1	10	12	14	18	4

投手記録	投手コード	選手名	局数	打数	被安打	被本塁打	与四球	与死球	与三振	与盗塁	与失策	与自点	与自点率
投手	折橋		28	134	29	4	11	1	10	12	14	18	4
捕手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
一塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
二塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
三塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
遊撃手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
内野手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
外野手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
投手			28	134	29	4	11	1	10	12	14	18	4

投手記録	投手コード	選手名	局数	打数	被安打	被本塁打	与四球	与死球	与三振	与盗塁	与失策	与自点	与自点率
投手	折橋		28	134	29	4	11	1	10	12	14	18	4
捕手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
一塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
二塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
三塁手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
遊撃手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
内野手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
外野手			1	5	4	2	1	1	1	1	1	1	1
投手			28	134	29	4	11	1	10	12	14	18	4

タイ・ブレイク適用時のボックススコア記入要領

規則・審判委員会 公式記録部会

日本野球連盟(社会人野球)内規の定めによりタイ・ブレイクが適用された場合のボックススコアの記入要領は以下のとおりとする。

1. タイ・ブレイク適用開始イニングの左に太線を引き、特記事項欄にタイ・ブレイク開始イニングを明記する。

※イニングスコア記入欄にも同様に太線を引く。

2. 規定により出塁した走者を記入する。

※出塁した塁の欄にTRと記す。

※球審の指示に従い、走者の背番号を確認する。

3. 集計に関わる留意事項

(1)規定により出塁した選手の得点及び残塁は、そのまま集計する。

また、規定により出塁した選手の得点を含む打点もそのまま集計する。

(2)タイ・ブレイク適用のイニングの投球回数は、1回ではなく、2/3回とする。

従って、3イニングとタイ・ブレイク2イニングに登板した投手の投球回数の合計は、4 1/3回とする。

以上